

2023年度未来ファンドおうみの助成基金 採択団体一覧

①びわこ市民活動応援基金(地域活性化事業)

	団体名	事業名	事業内容	助成額
1	ぼてじゃこトラスト	活動を通して大人会員から色々学び、未来のリーダーを育もう！	この事業では、滋賀県の豊かな自然環境の中で遊びたいという親子を対象として「ぼてじゃこワンパク塾」を開催しています。親子が水辺の生き物とふれあい親しむ中で、豊かな感性を持った子どもたちが育つことをめざしています。今年は新たに、長年生態系保全活動に携わってきた専門スタッフ(大人会員)や農家の方から実践的なノウハウを伝授してもらう機会を設け、さらにスキルアップした子どもリーダーの育成につなげていきます。	200,000
2	ういんどあんさんぶる楽楽	音楽の力でマルシェを盛り上げ、地域を活性化！	コロナウイルス感染症の影響により、地域内での人と人との関わりの希薄化や文化芸術の停滞が課題となっています。この事業では、大津市を中心に活動する吹奏楽団「ういんどあんさんぶる楽楽」が、県内各地で開催されるマルシェに参加し、吹奏楽曲の演奏や参加型企画を通じて来場者に音楽の楽しさを伝えます。これらの活動を通じて、地域の交流の場であるマルシェを盛り上げ、地域の活性化や文化芸術への興味関心を促進していくことをめざします。	259,000
3	「街かどアート展」実行委員会	「街かどアート展」～みんなの光～	この事業では湖東圏域にて巡回型展覧会「街かどアート展」を開催し、地域で暮らす障がいのある方々が制作されている陶芸、絵画、写真などの作品を展示します。障がいのある人の無限の可能性から制作される数々の作品との出逢いを通じて、差別や偏見がなくなり、地域共生社会を実現していくことをめざしています。今年は巡回型展示会の地域での定着化、体験型企画から始まる認め合う街づくりの発信、湖東圏域のアート作品の情報一元化に取り組んでいきます。	300,000
4	特定非営利活動法人 米原市多文化共生協会	悩みを話して共有する場の提供 エスパッソ アルコ イリス 米原	多くの外国籍市民の方が、言葉の壁や地域での交流機会がないことにより、子育てや教育関係において様々な悩みを抱えています。この事業では、昨年度より「エスパッソ・アルコ・イルス米原」(虹の広場)を開設し、外国にルーツを持つ児童・保護者の居場所や、コロナ禍で様々な悩みを抱える親子が悩みを話し合う場、外国籍の子ども達が日本の子ども達と交流する機会を提供しています。今年度も、心のオアシス事業(悩みを共有する場)、交流事業、親子のふれあい事業などを通じて、さらなる支援へとつなげていきます。	100,000

②びわ湖の日基金

	団体名	事業名	事業内容	助成額
5	海をつくる会 琵琶湖再生プロジェクトグループ	琵琶湖湖底再生プロジェクト	琵琶湖の湖底には多くのプラスチックゴミが堆積しています。湖底に残るプラスチックゴミは年月が経つと、より深い所に沈んだり砂に埋もれたり回収がどんどん難しくなっていきます。この事業では「海をつくる会」のダイバーが、県内の他団体と共同で湖底および水辺のゴミ回収・清掃・調査を実施します。また、普及イベントを行い、地域住民など多くの方の関心を深め、協力者を増やしていきます。	300,000
6	山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会	奥びわ湖・山門水源の森での各種研修・観察会実施とテキスト作成	同会は、2001年の発足以来、貴重な生物が生息する「山門水源の森」の自然と文化を保全する活動を続けてきました。今年は、保全活動のほか、従来から実施している自然観察会、環境教育学習、生物多様性の保全体験、各種団体の視察受け入れ、出前講座などを充実させていきます。またガイド内容の目的に合わせたテキスト(パンフレット)を作成し、それに基づいた現地研修・学習・体験を実施することにより、参加者のさらなる学びへとつなげていきます。	160,000
7	神田山を守り育てる会	里山神田山をみんなの力で魅力ある地域資源として守り育てる事業	近年、里山神田山は住民の暮らしとの関わりが薄くなり、樹木や雑草などの管理も行き届かず、人々は立ち入ることすらなくなっています。この事業では、地域の団体や住民と一緒に樹木の伐採や下草の除草等、神田山の再整備を行い、住民の憩いの場づくりを進めます。また、長浜南認定こども園と連携して幼児教育の場として使いやすいうようにしたり、シイタケの栽培やまつたけの収穫・販売を行ったりと、里山を活かした事業を展開していきます。	300,000

③積水化成品基金

8	特定非営利活動法人 甲賀の環境・里山元気会	皆んなで作ろう！ 元気な里山・豊かな里山	里山元気会は、元気で豊かな里山を維持・保全する活動を通じて、地域に里山づくりを広め、自然を大切にする子どもたちを育成してきました。今年は、近隣の森の整備や植樹した苗木の管理、椎茸畑の新設、ササユリの管理や獣害対策、冒険の森広場の整備、里山体験などを一般市民や小学生・保育園児、夢の学習会員等と一緒に実施していきます。子どもや大人が里山の魅力を知り、里山づくりがいつそう広がっていくことを願い活動しています。	200,000
---	-----------------------	-------------------------	---	---------

④笑顔あふれるコープしが基金

	団体名	事業名	事業内容	助成額
9	ぱらでい	トワイライトぱらでいー夜間の子ども食堂と学習支援等の取り組み	不登校等の課題をもつ児童や保護者が話をしたり情報交換をしたりする場は乏しく、フリースクールや通級指導教室などの開所時間に保護者が送迎できない場合、子どもは教育を受けることができないという現状があります。この事業では、愛荘町内外の不登校等の児童や保護者等を対象に、夜間の子ども食堂と、学習支援やお話し会、スポーツ体験会などを実施します。これらの交流を通じて、お互いが気軽に話をし尊重しあえる場づくりをめざします。	100,000
10	いちあわあ	まなびからつながる堅田の居場所	現代は共働きの保護者が多く、子どもがゲームや動画などに接する時間も増加し、子どもたちに家事などの生活に必要な知識や知恵を教える時間を取ることが難しくなっています。この事業では、地域の子どもたちに、自立した生活に役立つ知識や知恵、社会性のまなび、働く体験の機会などを提供します。また、おしゃべり会を実施し、保護者や地域の大人が、子どもや学校、仕事や家事などの困りごとを互いに話したり聞いたりする場を設けます。	100,000
11	東近江国際交流協会	のとがわ にほんご きょうしつ 立ち上げと運営	近年、東近江市では、労働のためにベトナム、ブラジル、ペルーなどから来られる方が急増しています。しかし、ほとんどのの方が日本語を話せないため、災害時の対応や、行政機関、病院などでの手続きなど、多くの方が不安を抱えています。この事業では、能登川、五個荘エリアにて月3回日本語教室を実施し、既存の日本語教室へのアクセスが難しく学ぶ機会がなかった外国籍の方に日本語を学ぶ機会を提供します。また、ボランティア養成講座を開催し、日本語指導ボランティアの人材確保を図ります。	100,000

⑤ナカザワNEOフレンドシップ基金

	団体名	事業名	事業内容	助成額
12	NPO法人 コレジオ・サンタナ	国際交流子ども絵画展 ARTで知ろう繋がり！ブラジルと日本	この事業では、愛荘町にあるブラジル学校「サンタナ学園」に通う子供たちや県内の他の学校の子供たちなどを対象に「国際交流子ども絵画展」を実施します。子どもたちの絵画の展示だけでなく、県内に住む外国人に関するリサーチを含む展示や、子どもたちや地域のこれからをテーマに公開トークセッションも実施します。これらの活動を通じて、地域に暮らす外国人生徒や外国人学校のことを知ってもらい、互いを尊重し合い生活できる地域の多文化共生の実現に貢献していきます。	100,000

⑥げんさん食育NPO基金

	団体名	事業名	事業内容	助成額
13	特定非営利活動法人NPO子どもネットワークセンター天気村	食育から共育ちでつくる「じょうぶな頭とかしい身体」	聴覚に障がいをもつ子どもたちの生活体験は、手話で話せる人間関係内の範囲にとどまることが多く、自ら経験がないことに挑戦する機会が少ないという現状があります。この事業では、障がいをもつ子どもたちが、親や健常児と一緒に、畑づくりや苗植え、収穫やクッキング、(子どもが作る)子ども食堂などの活動を行います。土に触れたり作物を作る楽しさ、苦労を理解し、食に関する感謝の気持ちや収穫する喜びを互いに分かち合い、明日への生きる力を養っていきます。	100,000
14	特定非営利活動法人あめんど	僕らが主役の課外活動「やる気を育む料理教室」	発達障がいなどコミュニケーションが苦手な児童や、消極的で引っ込み思案な児童は、一部の学習カリキュラムから疎外されてしまう事があり、これら「特有の弱さ」を持つ子どもへの配慮は行き届かないのが現状です。この事業では、発達障がいをはじめ、コミュニケーションの苦手な児童に課外事業を提供します。具体的には、少人数制で調理実習(中華料理、お菓子作り、カナダ料理、アウトドア料理など)を実施し、児童の内面的変化や成長(自己肯定感や学習意欲)につなげていきます。	100,000
15	特定非営利活動法人 滋賀自閉症研究会 たんぽぽ	自閉症児が楽しく参加できる料理教室(作業所での体験学習)	自閉症の人は、馴染みのある食べ慣れたもの以外を口にすることに抵抗があるケースが多くあります。この事業では、自閉症の子どもたちが、わかりやすい環境の中で、自分の好きなものを自ら調理することで食の楽しさを知り、食への関心を高めます。また、他人からの強制ではなく本人の楽しみとすることで調理への関心を持ち、一通りの工程をひとりでやりきる活動を経験することで自信をつけていきます。	100,000

⑦湖国文学活動応援むらさき基金

	団体名	事業名	事業内容	助成額
16	鳩の会	日野俳句を次世代に伝え、日野の活性化につなげたい	日野町では多くの俳人が俳句文化をつないできました。しかし、かつては100人を超えていた俳人も、高齢化が進み半数以下に激減しています。この事業では、日野俳句の振興と町の活性化を目的に、ひな祭俳句大会や、小学校への俳句の出張授業、子どもカルチャー教室などを開催します。これらの活動を通じて、多くの子どもたちに俳句の楽しさ、面白さ、言葉の美しさを知ってもらい、日野俳句の継承を図ります。	100,000
17	風のかけたる	聞き書きでつなぐ山中町の過去・現在・未来	山中町は比叡山中に位置し、自然の中で暮らすために受け継がれた習わしが今も息づいている里山集落です。古より交通の要所でもあり、平安時代には数多くの和歌が詠まれました。この事業では、山中町に住む方々に、山中町にまつわる祭、行事、生活、伝承についての聞き書きを行い、冊子にまとめ山中町の各世帯および希望者に配布します。朗読会も開催し、若者や移住者、周辺住民に、山中町の豊かな歴史や文化の継承を図ります。	100,000

⑧びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金①

	団体名	事業名	事業内容	助成額
18	一般社団法人このゆびとまれ	薪づくりで障がい者も共に暮らせる社会をつくる	この事業では、高島の誇れる豊かな森林資源を薪として活用し、さらにそれを障がいのある方の仕事の場として提供します。具体的には、障がいを持つ方や在宅の方が、地域の方に協力いただきながら地元のヒノキの丸太を薪にしてキャンプ場に納品したり、規格外の薪で焼き芋やピザづくり体験をしたり、木材や薪に関わる方たちと積極的に交流を行います。この活動を通して森の保全や地域活性化を図ると同時に、障がいのある方も地域で共に暮らしていける社会を築いていきます。	100,000

⑧びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金②

	団体名	事業名	事業内容	助成額
19	東近江市あらゆる場面で木を使う推進協議会	100年の森づくりビジョン びわ湖源流の森あらゆる場面で木を使うプロジェクト	生活様式や価値観の変化によって地元産の木材は利用されなくなり、森林は荒廃し、森林が持つ公益的機能は発揮されていません。この事業では、東近江産の木材を使用した玩具や材料による木育パークを実施し子ども達をはじめ多くの人々が木に慣れ親しむ場を提供します。これにより森林や自然環境の大切さを学ぶ機会とするとともに、豊かな心や生きる力を育むことをめざしています。今年度は、木育パークのパッケージ化や木育パーク普及のための広報活動も進めています。	300,000